

会議録

会議名	第43回 海津市地域公共交通会議
日時	令和8年6月19日（金） 13：30～：15：00
場所	海津市役所 西館1階 大会議室
出席者	委員24名 事務局4名 （株）テイコク2名
傍聴人	0名
議題等	報告1 コミュニティバスの利用状況について 報告2 令和6・7年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について 報告3 今年度の取組事業について 議題1 令和7年度決算について 議題2 令和8年度事業計画及び予算（案）について 議題3 第2次海津市地域公共交通計画（素案）について 議題4 地域公共交通計画別紙（案）について
報告事項 【報告1】 コミュニティバスの利用状況について 【報告2】 令和6・7年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について 【報告3】 今年度の取組事業について 事務局から、資料1、資料2、資料3に基づき説明 （委員） ・小中学生夏休み無料パスポートについて、昨年度まではコミュニティバスとデマンド交通の両方で使用できたが、今年度はコミュニティバスのみが対象か。 →昨年度と同様、定時定路線バスとデマンド交通の両方が対象である。 （委員） ・かいづっちタクシーについて、海津市役所では正面玄関から遠い場所で待機しているが、正面玄関付近で待機してはどうか。 →検討する。 （委員） ・資料1の路線別利用者数の推移で、海津津島線の利用者は、令和7年4月～9月から令和7年10月～令和8年3月にかけて減少しているが、大幅に増加しているとコメントされているのはなぜか。 →1年間でみると海津津島線については令和6年度から令和7年度にかけて1.6倍に増加しているが、他の路線は概ね横ばいとなっている。 （委員） ・資料2の「期待する取組」において、「関係者が連携しダイヤ等の見直しを検討され」とコメントがあるが、岐阜羽島駅ではJRと名鉄、津島駅では名鉄と接続している中で、市として今後名鉄とも連携を図る予定はあるか。 →今年度のコミュニティバスのダイヤ改正については、事前に名鉄からダイヤ案を提供いただい	

た上で検討している。

(委員)

・3月に実施された名鉄のダイヤ改正では、どのような対応を取ったか。

→記者発表前にダイヤ改正の内容を提供いただき、その内容をもとにコミュニティバスとの接続に問題がないかを確認した。

(委員)

・JRとは同様の調整をしたか。

→新幹線のダイヤにはあわせておらず、名鉄羽島線のダイヤに可能な限り接続できるようにコミュニティバスのダイヤを設定している。

(委員)

・3月から早朝の新幹線が増発したが、コミュニティバスも増便することで利便性が向上するのであれば積極的にダイヤ改正をおこなっていただきたい。

協議事項

【議題1】 令和7年度決算について

事務局から資料4に基づき説明

(委員)

監査を実施したところ、適正に執行されていることを確認した。

(委員)

・昨年度の業務委託について、事業者選定の方法を教えてください。

→岐阜県内の3つの業者から見積もりを取り、金額が最も安い業者に委託している。

(委員)

・委託費用に対して費用対効果はどのように評価しているか。

→地域公共交通計画の策定は、今後5年間の公共交通の在り方を定める重要な計画になるため、アンケートを実施する中で必要な経費だと認識している。

(委員)

・市で自前でアンケート等を行った場合の試算はしているか。

→昨年度は、計画策定の調査業務として、主にアンケート調査やワークショップの運営を委託しているが、市が自前で実施する事例は少なく、基本的に委託するものと認識している。金額に関しても適正な範囲内と考えている。

○原案のとおり承認

【議題2】 令和8年度事業計画及び予算(案)について

事務局から資料5-1、資料5-2に基づき説明

(委員)

・小中学生夏休み無料パスポートについて、小中学生だけではなく、交通難民である高齢者、免許

返納者、外国人にも広げてはどうか。外国人は自転車で行動する人が多いが、この人たちが1日に10人でも利用すれば月間で見れば大きな利用増になる。交通難民に対する支援について検討してほしいと思う。

(委員)

・今年度の業務委託費が昨年度より金額が安いのはなぜか。

→昨年度は調査費用が含まれていたため、今年度は昨年度より安くなっている。

○原案のとおり承認された

【議題3】 第2次海津市地域公共交通計画（素案）について

事務局から資料6に基づき説明

(委員)

・昨年度の公共交通会議で、市役所のバス乗り場を玄関前への移設すること、敬老パスの導入について発言したが、検討されたか。

→委員からの意見については、事務局の中で判断することになるが、可能な限り反映させていきたいと思っている。

(委員)

・回数券を購入できる場所がバスの車内だけであるが、市役所の市民課で買えるようにしてほしい。

→以前は市が事業主体としてコミュニティバスを運営していたため、チケット販売を行っていたが、現在は事業主体が市からスイトトラベルへ移行しているため、運賃の取扱いについても市では行わないこととしている。その代わりに、デジタルチケットとしてクイックライドを導入しており、回数券、定期券、一日乗車券をスマートフォンから購入できる。定期券に関しては7割の方がクイックライドを利用している。今後も周知していきたい。

(委員)

・クイックライドは高齢者が使用するのにハードルがある。コミュニティバスの乗り方教室を積極的に開催し、利用方法の周知を行っていただきたい。

(委員)

・平田支所から安八スマート IC へのにしみのライナーリレーバスが廃止となったが、市民への影響や、代替手段は考えているか。

→にしみのライナーリレーバスは実証実験として運行していたが、利用者が少なく費用対効果が見込めないことや運転手不足の影響でとりやめることとなった。名古屋方面へのアクセスについては、現在は海津津島線に力を入れており、利用者が増加傾向にあることから、名古屋方面へのニーズは満たしているのではないかと考えている。

(委員)

・にしみのライナーリレーバスは平田支所から運行されていたが、海津津島線は平田支所に乗入れ

ていない。平田地区の住民のニーズを満たしていると言えるか。

→海津津島線は土日に関しては平田支所が発着となっており、津島方面からお千代保稲荷へのアクセスを目的としているが、ニーズは満たしていると考えている。

○原案のとおり承認された

【議題４】 地域公共交通計画別紙（案）について

事務局から資料 7 に基づき説明

○原案のとおり承認された

【総括】

（岐阜大学 中村委員）

その他

（事務局）

養老線交通圏地域公共交通計画（素案）について説明

（委員）

・津島線について、バス停間の所要時間の設定が上りと下りで異なっており、津島駅方面が 30 分、市役所方面が 35 分となっている。市役所方面は、時間に余裕がありすぎるため、東海大橋西で 3 ～4 分間停車することもある。乗客からも時間を調整してはどうかという意見があり、改善をお願いする。

→事業者と相談し、改善案を検討する。

（委員）

・6 月の段階で次期計画素案が作成されており、委員の皆様からも活発な意見が出されていることから、次期計画には期待が持てる。次期計画素案の P31 に車体広告の実施、クラウドファンディングの実施とあるが、人口減少や自治体が財政難の中、税金以外で資金を集め、確保していくという取り組みが明記されているのは良いと思った。他市では、企業協賛のバス停という形で、企業から協賛金を得ることにより、企業の前にバス停を設置する取組もある。行政と企業の双方が Win-Win の関係になる良いアイデアだと思うので、参考になればと思う。

閉会